

京都市青少年科学センター出札改札案内業務委託業者選定に係る提案要領

京都市青少年科学センター出札改札案内業務（以下、「委託業務」という。）を委託するにあたり、公募型プロポーザル方式による企画競争選定により受託事業者を決定するため次のとおり提案を募集する。

1 名称等

- (1) 名称 京都市青少年科学センター出札改札案内業務委託
- (2) 所在地 京都市伏見区深草池ノ内町13
- (3) 施設概要 資料4「京都市青少年科学センターの概要」参照

2 委託業務内容

- (1) 出札（「入場料」と「プラネタリウム観覧料」（以下「入場料等」という。）の徴収及び収納事務）業務に関すること。
- (2) 改札業務に関すること。
- (3) 館内案内業務に関すること。
- (4) その他車椅子貸出、拾得物保管、相談・苦情対応等に付随すること。
※ 詳細は、別紙仕様書のとおり。

3 委託期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

4 委託金額の上限

金7,076,000円（消費税及び地方消費税相当額含む。）

5 プロポーザルの参加資格

参加事業者は、次の資格要件をすべて満たしていること。

- (1) 京都市契約事務規則第22条第2項に規定する指名競争入札有資格者名簿（人材派遣）に登録されており、参加招請書類の発送の日から契約締結の日までの間において、京都市競争入札等取扱要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止の処分を受けていないこと。
- (2) 過去3年間において、受付・案内・接客業務に関する契約実績があること。
- (3) 請負業務として受託が可能であること。

6 参加手続等

- (1) 提出書類・部数・期限

参加事業者は、下記のとおり京都市青少年科学センターに書類を提出すること。

No.	提出書類	部数	提出期限
1	参加意向確認書（様式1）	1部	令和2年2月14日（金）午後5時まで
2	業務提案書（任意様式）	4部	令和2年2月21日（金）午後5時まで
3	業務提案書補助資料（任意様式）	4部	
4	業務受託見積書（様式2）	1部	

- (2) 留意事項

- (ア) 提案書類の作成および提出に係る費用は、事業者の負担とし、提出された提案書類は事業者には返却しない。
- (イ) 提出された提案書類については、事業者の選定以外の用途で使用しない。
- (ウ) 応募後に辞退する場合は、書面にて辞退届（任意様式）を提出すること。
- (エ) 提出書類を本要領に定める提出期限、提出方法によらずに提出した場合、提出書類に記載すべき事項の全部、もしくは一部が記載されていない場合、または不備がある場合は無効とする。

- (3) 提出書類作成に係る補足

- (ア) 参加意向確認書（様式1）
参加意志のある場合は持参すること。

(イ) 業務提案書（参加意志がない場合は、提出不要）

以下の評価項目に沿った提案内容を記載すること。

A3用紙を使用し、表紙を除き20ページ（両面印刷であれば10枚）以内に収めること。形式は自由とする。

① 運営体制

- ・ 配置人数が適切であること
- ・ 役割分担や責任が明確であること
- ・ 長期休業期間中やイベント等による繁忙開館日に円滑にサービスを提供できる運営体制が整備され、工夫がみられること
- ・ 欠員時の補充等のフォローが確実に実施できること
- ・ 日常並びに定例の報告が適切であること

② サービス提供

- ・ 市民の科学に対する興味・関心を高め、自然科学の不思議さや面白さを体験する場として展開している市民科学事業の趣旨を踏まえ、適切なサービスを提供すること
- ・ 来館者に対する挨拶等の対応が徹底されていること
- ・ 身体障害者、外国人、観光客等に対する特段のサービスや接遇に関する資格がある場合は提案すること
- ・ 京都市青少年科学センターへの来館者増、収入増となるような提案をすること

③ 従業員教育

- ・ 従事前研修やブラッシュアップ研修等による従業員教育が適切に実施されていること
- ・ 従業員に対し、防災や応急処置、救急救命等の研修や訓練が実施されていること

④ 苦情処理・危機対応

- ・ 苦情・トラブル等発生時に適切な対応ができること
- ・ 事故や災害発生時の初動体制や避難誘導體制が確立されていること

⑤ 金銭管理

- ・ 京都市の公金収納受託者として、金銭の管理が適切であること

⑥ 自由提案項目

- ・ 仕様書に記載のない独自業務等があれば提案すること

⑦ 京都市青少年科学センターについての知識

- ・ 業務履行にあたり、京都市青少年科学センターの設置目的や業務内容が十分に理解されていること

(ウ) 業務提案書補助資料

業務提案書補助資料として、次の内容が記載された資料を提出すること。形式は自由とする。

- ① 企業または団体の概要（名称・代表者名・住所・連絡先電話番号及び電子メールアドレス、担当者名）類似施設等での履行実績
- ② 過去における類似施設等での同種業務履行実績

(エ) 業務受託見積書(様式2)

- ① 提案に基づき委託金額の上限の範囲内で見積金額を記載し、提出すること。
- ② 業務内容項目ごとの内訳を記載すること。

7 留意事項

(1) 下見

下見を希望する場合は、あらかじめ科学センターに問合せ、日時を調整の上、実施すること。

(2) 仕様書

仕様書は、業務委託業者選定に係る基本的事項を定めたものであり、契約締結にあたっては、提案内容を踏まえ内容を変更する場合がある。

8 配布資料（京都市青少年科学センター及び京都市教育委員会、京都市情報館掲載資料）

資料1：提案要領（参加意向確認書（様式1）、業務受託見積書（様式2）含む）

資料2：仕様書

資料3：提案内容採点表

資料4：京都市青少年科学センターの概要（配置図等含む）

資料5：施設のごあんない

資料6：科学センターだより

9 提案募集に関する質疑

(1) 質疑の方法

本提案募集の内容について質疑がある場合は、令和2年2月14日（金）午後5時までに（必着）、書面（様式自由）で、担当部局宛てに FAX または事前に電話連絡のうえ持参により提出してください。

なお、FAX による場合は、受信を必ず電話で確認してください。

(2) 質疑に対する回答

すべての質疑及び回答については、令和2年2月18日（火）までに京都市教育委員会のホームページ（公募型プロポーザル情報のページ）に掲載します。

なお、回答は、本要項と一体のものとして、要項と同等の効力を有するものとします。

10 ヒアリングの実施

提案内容について、以下のとおり、提出書類に基づく個別ヒアリングを実施する。

実施時刻等詳細については、電話または電子メールで連絡する。

(1) 実施日時（予定） 令和2年3月2日（月）（1社につき約60分以内）

(2) 場所 京都市青少年科学センター

11 受託候補者の決定

(1) 選定方法

選定内容採点表をもとに、提出書類及びヒアリング内容について審査を行い、最も高い評価を得た提案を行ったものを受託候補者として選定する。

なお、評価点が60点以上であることを選定の条件とする。

(2) 選定結果の通知

選定結果は、令和2年3月9日（月）前後に書類によって通知する。

12 契約の締結

(1) 受託候補者の選定後、本市が提示する仕様書及び受託候補者の提案内容等を踏まえ、契約内容についての協議を行い、契約条件について合意に達した後に委託契約を締結する。

(2) 受託候補者と契約条件について合意に達しなかった場合は、本市と受託候補者は契約しないこととする。

(3) 本業務に係る予算が成立しなかった場合は、本市と受託候補者は契約しないこととする。

(4) 本業務に係る予算が、本プロポーザルにおいて受託候補者から提出された見積書に掲載された金額を満たして成立しなかった場合は、本市と受託候補者において仕様書の内容等について協議するものとする。協議内容によっては本市と受託候補者は契約をしないこととする。

(5) 上記(2)～(4)いずれの場合においても、受託候補者は、生じた損害について、本市に請求することはできないものとする。

なお、提出書類に虚偽の内容が含まれると認められる場合や受託候補者が提案書類提出の日から契約締結日までの間に、競争入札参加停止の処分を受けた場合は、失格とする。

13 スケジュール

内 容	日 時
参加意向確認書の提出	令和2年2月14日（金）午後5時まで
業務提案書等の提出	令和2年2月21日（金）午後5時まで
ヒアリング	令和2年3月2日（月）時刻は別途通知
受託候補者選定	令和2年3月9日（月）前後
審査結果通知	同上

14 提出先及び問い合わせ先

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13番地

京都市青少年科学センター（担当：今西・武藤）

TEL：075-642-1601 FAX：075-642-1605

(様式1)

令和2年2月 日

(あて先) 京都市長

企業(団体)名 _____

所在地 _____

代表者職名 _____

代表者氏名 _____ ⑩

電話番号 _____

担当者氏名 _____

参加意向確認書

下記業務に係る参加資格を有しており、業者選定について参加しますので、業務提案書及び見積書について提出します。

記

業務名：京都市青少年科学センター出札改札案内業務

<参加資格条件> (すべての条件を満たすことが必要です。)

1. 京都市契約事務規則第22条第2項に規定する指名競争入札有資格者名簿(人材派遣)に登録されており、参加招請書類の発送の日から契約締結の日までの間において、京都市競争入札等取扱要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止の処分を受けていないこと。
2. 過去3年間において、受付・案内・接客業務に関する契約実績があること。
3. 請負業務として受託が可能であること。

(様式2)

令和2年2月 日

(あて先) 京都市長

企業(団体)名 _____

所在地 _____

代表者職名 _____

代表者氏名 _____ (印)

電話番号 _____

担当者氏名 _____

業 務 受 託 見 積 書

- 業 務 名 : 京都市青少年科学センター出札改札案内業務
- 契約期間 : 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

標記業務に係る見積金額について、下記のとおり提出します。

記

¥	百万円			千円			円
---	-----	--	--	----	--	--	---

(ただし、消費税及び地方消費税を含まない)

見積金額の積算根拠を示す積算内訳を別紙(A4版)により添付すること。

京都市青少年科学センター出札改札案内業務委託仕様書

1 総則

京都市青少年科学センター（以下、「科学センター」という。）における出札改札案内業務（以下、「本業務」という。）について、以下のとおり定める。

- (1) 科学センターは昭和44年5月に開設されて以来、科学者精神を体得した将来の市民を育てることを目的として「センター学習」・「教員研修・学校等支援事業」・「市民科学事業」の3つを柱とする業務を行っており、本業務において委託する業務は展示場やプラネタリウム、屋外園等を広く一般公開することを通じ、理科好きな子どもを育て、世代を問わない市民に科学への関心を高める「市民科学事業」運営の根幹をなすものである。受託者は、本業務が市政運営上、極めて重要な業務であるとの認識のもと業務を遂行すること。
- (2) 年間を通じて幅広い世代の、多数の入館者への接客を行う上で、親切で丁寧な対応はもとより、すべての来館者が快適な観覧時間を過ごすための環境を提供し、施設の公共性を認識しながら、科学センターの円滑な運営に寄与すること。
- (3) 受託者は、十分な人員を確保するとともに、受託前に業務習熟のための研修を行うなど、本業務を円滑に遂行できるよう、万全の体制で対応すること。
- (4) 本業務は、労働基準法、京都市契約事務規則、京都市会計規則、京都市会計規則事務取扱要項、公金収納受託者の収納事務（業務マニュアル）等の関係法令を遵守の上、本仕様書に基づき誠実かつ完全に遂行すること。

2 業務対象施設

- (1) 所在地 京都市伏見区深草池ノ内町13番地
- (2) 名称 京都市青少年科学センター

3 業務期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

4 業務日時

(1) 業務日

3の業務期間のうち京都市青少年科学センターの組織及び運営に関する規則第1条に規定する休館日を除く毎日（年間312日）。

休館日（年間53日）は、木曜日（木曜日が祝日の場合は翌平日）並びに年末年始（12月28日～1月3日）であるが、次のとおり臨時休館日と臨時開館日を設け、臨時開館日は業務日とする。

(ア) 臨時休館日は、7月8日（水）、7月10日（金）

(イ) 臨時開館日は、4月2日（木）、7月27日（月）、7月30日（木）、8月13日（木）、8月20日（木）、12月24日（木）、3月25日（木）

(ウ) 前述以外に開館または休館を設けることとなった場合は、状況に応じて対応すること。

(2) 業務時間

業務時間は、8時30分から17時00分とし、時間中は、業務が中断なく継続できるように配置すること。

(3) 業務人員

開館日に受託業務に従事する者（以下、「業務従事者」という。）の人員は業務時間を通じて、次のとおりとし、必要に応じて増員対応することとする。

- (ア) 通常平日開館日（年間184日）……………常時1名以上
- (イ) 土、日及び祝日開館日（年間116日）…常時2名以上
- (ウ) 繁忙平日開館日（年間12日）……………常時2名以上（8月11日～8月14日と別途、長期休業期間中やイベント等で繁忙が予想される8日間）

5 業務内容

業務従事者は、日々の朝礼その他必要に応じて実施する打合せ等により、科学センター全体の状況把握に努めた上で、科学センター展示場入口受付を中心とする展示場内において、次に掲げる業務を遂行することとする。

また、遅くとも8時55分までに、出札業務等開始準備を整えること。

(1) 出札業務

(ア) 出札時間

午前9時00分～午後4時30分（入館は、閉館の30分前まで）

ただし、開館時間前に出札希望者が多数待機している場合やイベント開催時等は、委託者と協議の上、出札時間を繰り上げる等柔軟な対応を行うものとする

(イ) 入場券の出札

委託者が設置する改札券売機を用いて、入場券やプラネタリウム観覧券の出札を行うこと

(ウ) 入場料等の徴収と収納

京都市青少年科学センター条例（以下、条例という。）に定める入場料等を徴収し、収納事務を行うこと

(エ) 入場料等の返金

既納の入場料等で返金の必要が生じた場合は、出札訂正の上、返金を行うこと

(オ) 釣銭管理

釣銭の保管と管理を行うこと

(カ) 出札状況報告

業務終了後、委託者に対し所定様式により出札状況を報告すること

(2) 改札業務

(ア) 入場料等減免確認業務

団体入場券を含む入場券や免除・減額申請書等の記載内容や申請と差異がないか確認すること

(イ) 再入場者確認業務

再入場希望者には、有効な入場券であることを確認した上で再入場を許可すること

(ウ) 配布物等の提供

イベント等により、入場者に対してリーフレット等の配布を行う場合があるので対応すること

(エ) 入館者数報告

業務終了後、委託者に対し所定様式により改札状況を報告すること

(3) 案内業務

(ア) 質問対応

入場者からのあらゆる質問に対し、丁寧かつ親切な対応を心がけること

(イ) 展示場等案内

入場者に対し、展示場配置や展示品イベント実施時刻等の案内を適切に行うこと

(ウ) 来館者取次

委託者に対する来客等の取次を行うこと

(エ) 拾得物・遺失物の受付及び管理業務

拾得物・遺失物の受付及び問合せ、管理業務を行うこと。併せて、管轄の警察署に対する拾得物・遺失物の届出等を行うこと。

(オ) 車椅子・ベビーカーの貸出業務

入場者への車椅子・ベビーカーの貸出業務を行うこと

(カ) 掲示・配架物の整理補充等

受付付近の来館者に向けた掲示物や配布物を常に見やすく活用しやすいように整理整頓を心がけること

(キ) その他

受付に設置する各種募金箱や備えつけ機器等の管理を適切に行うこと

(4) 安全管理業務

(ア) 受付付近での安全管理

受付付近における入場者の安全について十分留意することとし、車椅子利用者や年少者等に対し、必要な支援を行うこと

(イ) 負傷等における応急処置

入場者が、怪我や疾病等により体調不良を訴えた場合は、応急手当に係る薬品等を提供し、必要に応じて、保健室での休養や救急搬送等を委託者と連携のもと適切に行うこと

(ウ) 非常時等避難誘導補助

入館者の安全確保を第一に委託者とともに避難誘導補助を行うこと

(エ) 迷子対応

迷子への対応は、委託者と連携の上、迅速かつ適切に行うこと

6 業務体制

(1) 受託者は、受託業務の遂行を総括する者（以下、「業務主任者」という。）を定めること。

(2) 受託者は、業務従事者を定めること。

(3) 受託者は、公金について業務主任者または業務従事者に収納させる場合は、出納員を委任する旨の内規を定めること。

(4) 業務主任者は、常に業務全般を把握するとともに、業務従事者を指揮監督し、業務の円滑な遂行に務めること。

(5) 業務主任者と業務従事者は、本業務の遂行に必要な知識と経験を豊富に有する者とする。

(6) 業務従事者は、接客対応に必要な話術、接客術を会得した者とする。

(7) 受託者は、本業務の遂行に必要なノウハウを確実に継承し、業務主任者及び業務従事者の変更時においても業務の遂行に支障がないよう、事前及び業務中の教育を万全に行うこと。

- (8) 受託者は、5の業務について、業務の実施に必要な人数の業務主任者及び業務従事者を配置し、業務が中断なく円滑に行うこと。
- (9) 受託者は、土曜・日曜・祝日等や長期休業期間中等の繁忙期において混雑が予想される場合、増員を行うこと。
- (10) 受託者は、法令の定めるところにより、業務に支障がないよう、必要な休憩時間を交代で取得させること。
- (11) 受託者はすべての業務において、苦情対応等を適切に行うとともに、委託者に口頭並びに文書により報告を行うこと。

7 被服等

- (1) 業務主任者及び業務従事者は、本業務の遂行にふさわしい統一した服装を着用すること
- (2) 業務主任者及び業務従事者は、入館者に不快感を与えないよう、常に身だしなみを整えること。
- (3) 業務主任者及び業務従事者は、業務遂行中は名札を着用すること。

8 業務管理

- (1) 受託者は業務に関する報告事項及び引継事項等を記録した業務日報を提出するとともに、委託者の要請があるときには、業務状況について報告を行うこと。
- (2) 受託者及び業務主任者並びに業務従事者は、入館者等から受託業務に係る苦情等を受けたときは、速やかに委託者に報告を行うとともに、適切な措置を講じなければならない。
- (3) 受託者は、業務の遂行に必要な記録、資料の作成及び収集を行い、適正に保存整理するとともに、委託者の要請があるときは提出しなければならない。
- (4) 受託者は、業務の着手に先立ち、月間勤務表を前月の20日までに委託者に提出すること。
- (5) 受託者及び業務主任者並びに業務従事者は、本契約中に知り得た業務上知り得た個人情報・知識及び委託者の業務上の秘密等を漏らしてはならない。

9 業務に係る費用の負担区分

- (1) 委託者の負担
 - (ア) 業務遂行に必要な光熱水費
 - (イ) 事務机1台、事務椅子3脚、更衣ロッカーを貸与
- (2) 受託者の負担
 - (ア) 業務主任者及び業務従事者の業務研修と習熟に掛かる費用
 - (イ) 業務主任者及び業務従事者の被服関係費用
 - (ウ) 業務遂行に必要な消耗品等
 - (エ) 業務主任者及び業務従事者の防暑、防寒及び防虫対策に要する費用
 - (オ) その他、本業務の遂行に伴う費用

10 その他

- (1) 当該契約における委託料の支払いは、委託者が毎月業務終了後、受託者からの適法な請求書の提出を受け、業務委託料を毎月分割で支払うこととする。
- (2) 本契約委託業務終了時に他の業者への引継ぎがある場合は誠実に対応すること。
- (3) 受託者が青少年科学センターの敷地内に自動車を駐車することは、原則認めない。

京都市青少年科学センター出札改札案内等業務委託 提案内容採点表

	評価項目	評価事項	評価				
			A	B	C	D	E
1	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・配置人数が適正であること ・役割分担や責任が明確であること ・繁忙期の体制が明確であり、工夫がみられること ・欠員時補充が確実に実施できること ・日常報告等の定例報告が適切であること 	20	16	12	8	4
2	サービス提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市民科学事業の趣旨を踏まえ、適切なサービスを提供すること ・来館者に対する挨拶等の対応が徹底されていること ・身体障害者、外国人、観光客等に対する特段のサービスや接遇に関する資格がある場合は提案すること ・来館者増、収入増となるサービスを提案すること 	20	16	12	8	4
3	従業員教育	<ul style="list-style-type: none"> ・従事前研修やブラッシュアップ研修等による従業員教育が適切に実施されていること ・防災や応急処置、救急救命等の研修や訓練が実施されていること 	10	8	6	4	2
4	苦情処理 ・危機対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情やトラブル発生時に適切な対応ができること ・事故・災害発生時の初動体制や避難誘導体制が確立されていること 	10	8	6	4	2
5	自由提案	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に記載のない業務について、提案内容が優れていること 	10	8	6	4	2
6	施設及び 業務内容の 知識と実績	<ul style="list-style-type: none"> ・業務履行にあたり、京都市青少年科学センターの設置目的や業務内容が十分に理解されていること ・類似施設での同種業務の履行実績から円滑な業務の履行が期待できること 	10	8	6	4	2
7	価格点	<ul style="list-style-type: none"> ・委託金額の上限額7,076,000円(税込)からの節減努力 A:6,509,920円以下(契約上限額の92%) B:6,509,921円～6,651,440円(同94%) C:6,651,441円～6,792,960円(同96%) D:6,792,961円～6,934,480円(同98%) E:6,934,481円以上 	20	16	12	8	4
合計(提案内容80点 価格20点)			100点満点				

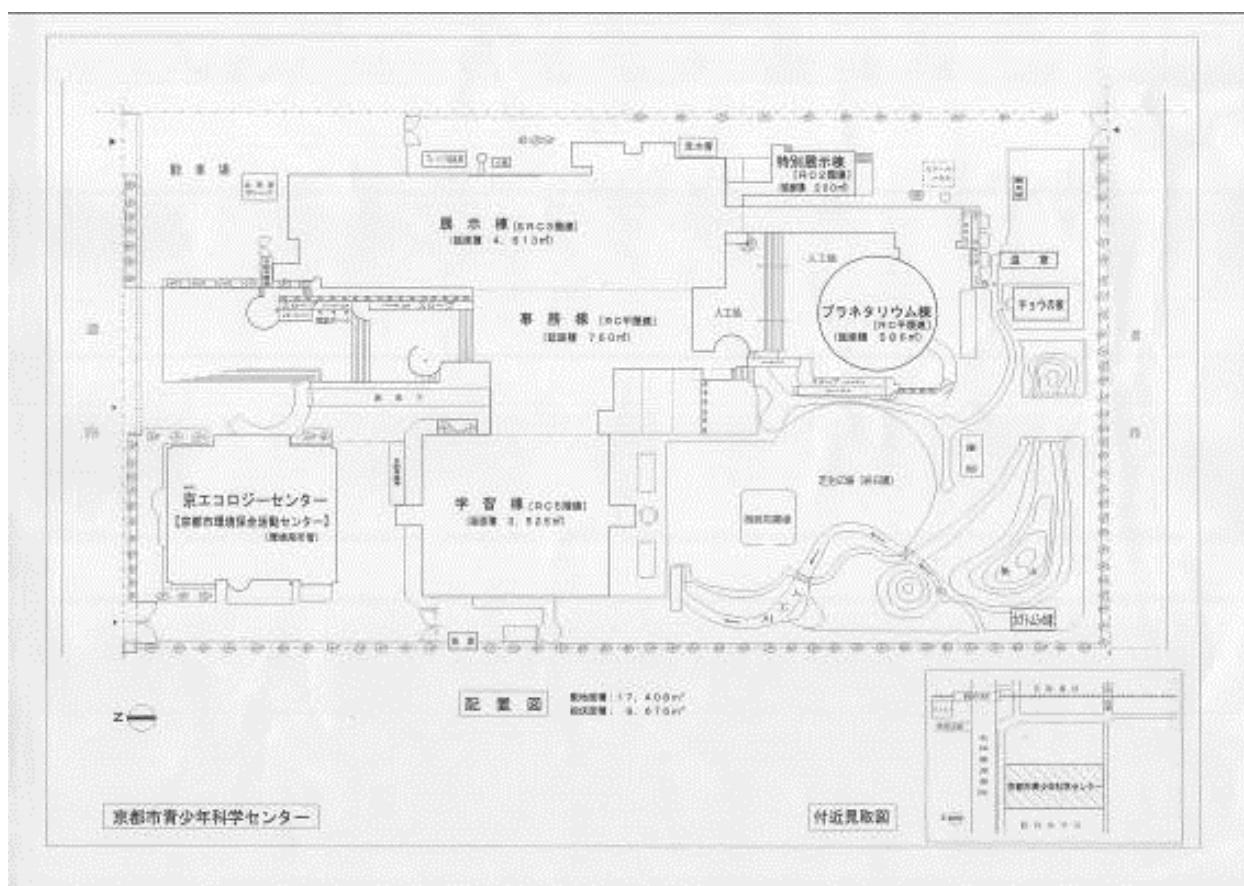
評価点:A(きわめて良好)・B(良好)・C(普通)・D(やや不十分)・E(不十分または提案なし)

京都市青少年科学センターの概要

科学センターでは、昭和44年5月に開設されて以来、科学者精神を体得した将来の市民を育てることを目的とし、(1)「センター学習」(2)「教員研修・学校等支援事業」(3)「市民科学事業」の3つを柱として、大学・産業界等の協力を得ながら、さまざまな取組を推進している。

1 施設概要（下記「平面図」参照）

- 所在地：京都市伏見区深草池ノ内町13
- アクセス：京阪「藤森」駅下車西へ400m、地下鉄・近鉄「竹田」駅下車東へ1km
- 鉄筋コンクリート地上3階（一部5階）
- 建築面積4,820㎡ ■ 延床面積9,674.7㎡ ■ 敷地面積17,408㎡



2 開館日等

- 開館時間：午前9時00分～午後5時00分（ただし、入館は閉館30分前まで）
- 休館日：木曜日（祝日の場合は翌平日，長期休業期間中は開館），年末年始

3 展示場等概要（次頁「展示品配置図」参照）

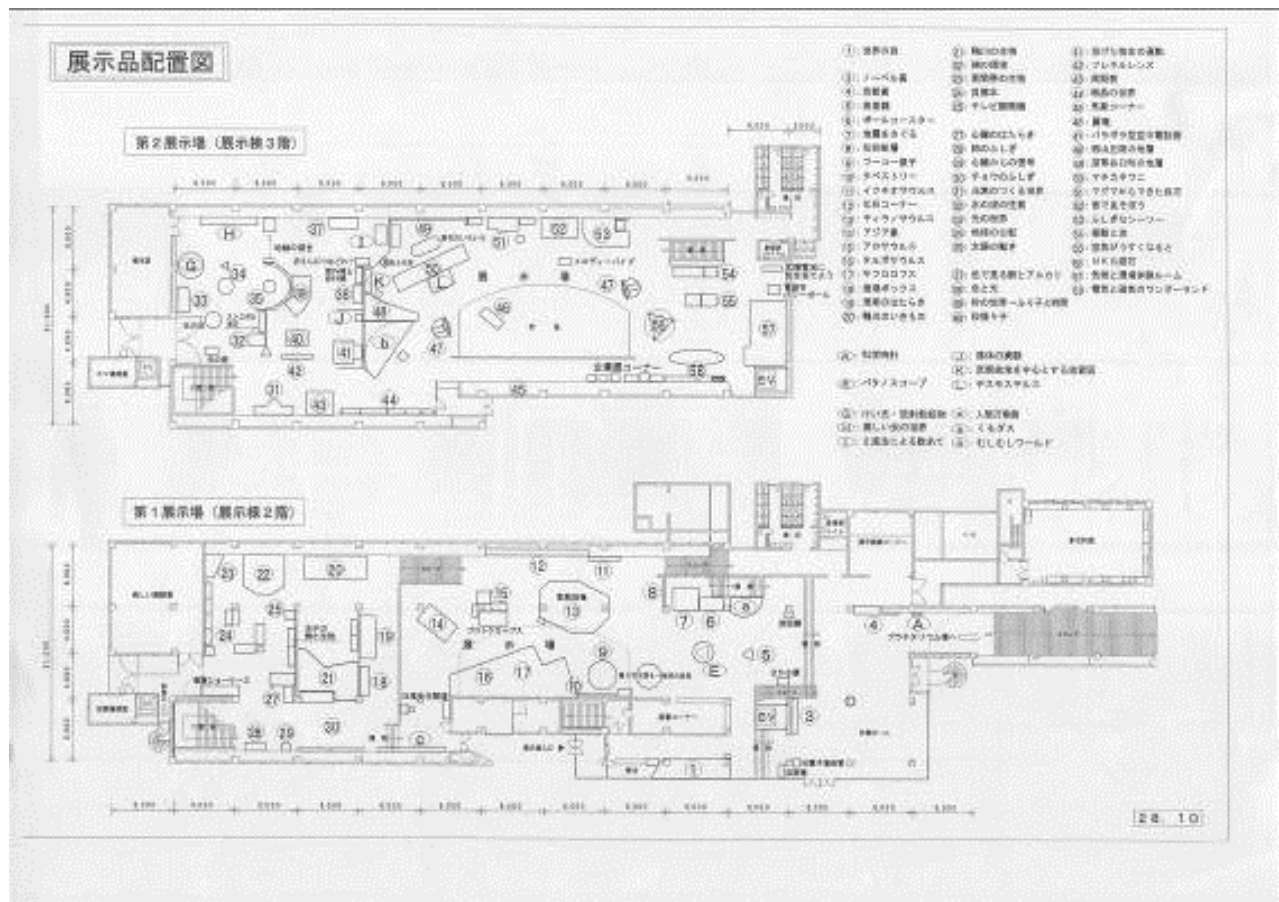
平成30年度は、133,304人をお迎えし、そのうちプラネタリウム観覧者は、66,707人、親子ふれあいサイエンスルーム入場者は、28,744人であった。

また、令和元年度は、12月末現在で103,427人（前年比0.8%減）である。

(1) 展示場（2階・3階）

自然科学の基本に関する展示品（約100点）を設置している。

展示品は、来館者が体験を通じて、科学的な原理・原則を身に付け、科学的なものの見方・考え方を学べるよう工夫・考案（展示品に触れ、考えながら操作し、また操作しながら考えを進展させることができる）したオリジナル展示品である。



(2) プラネタリウム

本市唯一のプラネタリウムは、成人や幼児等ターゲットを定めた特別番組の実施やタイムリーなテーマによる自主製作番組、生解説による投映に定評があり、来館者の約50%（平成30年度実績）が訪れる人気施設である。

令和元年12月2日よりリニューアル工事のため令和2年7月まで投映を休止している。

(3) 親子ふれあいサイエンスルーム

乳幼児と保護者が、科学的な遊具や本などを通じて、ふれあいながら、科学の不思議さや面白さを体験し、興味・関心を高めるきっかけ作りとするとともに、親同士が子育てに関する情報交換や交流を図る場として食堂跡を改修し、平成24年4月開設した。

保護者は科学センター入場料を要するが、入場料優待制度として、「親子でパスッ!」を発行し、乳幼児を同伴する場合の4回目以降の入場料を無料（1年間有効）とする。

(4) 屋外園

約40種類の岩石や化石、約300種類の樹木や四季折々の草花が見られ、昼食スポットとしても人気があり、年間を通じて沖縄のチョウを観察できる「チョウの家」や夏期限定で開設する「カブトムシの家」も多くの観覧者でにぎわう。

4 入館者数等

平成30年度 月別入場者並びにプラネタリウム観覧者実績

●入場者

月	開館 日数	入場者数		入場者内訳			
		1日 あたり	1月 あたり	一般	(うち 幼児)	中・高 校生	小学生
4	27	294	7,936	5,917	2,060	191	1,828
5	26	342	8,898	6,161	2,023	328	2,409
6	25	346	8,648	6,544	2,372	155	1,949
7	26	562	14,608	10,465	3,562	360	3,783
8	31	755	23,399	16,093	5,430	680	6,626
9	24	530	12,730	9,714	3,691	278	2,738
10	27	403	10,890	6,521	2,071	226	4,143
11	25	418	10,455	6,325	2,048	216	3,914
12	24	278	6,673	5,038	1,942	200	1,435
1	24	316	7,593	6,205	2,379	220	1,168
2	24	365	8,752	7,131	3,027	151	1,470
3	28	454	12,722	10,192	4,376	313	2,217
年度 計	311	429	133,304	96,306	34,981	3,318	33,680

●プラネタリウム観覧者

月	開館 日数	観覧者数		観覧者内訳			
		1日 あたり	1月 あたり	一般	(うち 幼児)	中・高 校生	小学生
4	27	144	3,899	2,699	838	97	1,103
5	26	167	4,339	2,771	753	208	1,360
6	25	165	4,117	2,890	1,008	72	1,155
7	26	289	7,518	5,015	1,583	236	2,267
8	31	424	13,144	8,298	2,510	388	4,458
9	24	251	6,026	4,208	1,380	187	1,631
10	27	216	5,833	2,844	796	70	2,919
11	25	195	4,872	2,254	567	136	2,482
12	24	141	3,393	2,375	808	96	922
1	24	149	3,568	2,787	973	141	640
2	24	159	3,810	3,083	1,269	60	667
3	28	221	6,188	4,690	1,964	192	1,306
年度 計	311	144	66,707	43,914	14,449	1,883	20,910

展示品のご案内 information

第2展示場(3階)

- 1 実物標本・標本・世界の地図・植物の世界
- 2 水の波の性質・ストロボと測定
- 3 みらい地球儀 NEW
- 4 蛍光・放射線・鉱物
- 5 太陽の動き・地軸の傾き・地球の公転
- 6 美しい炎の世界 - 炎色反応 -
- 7 カラーフル光ラボ
- 8 色でみる酸とアルカリ
- 9 紫外線と赤外線
- 10 2進法による数あて
- 11 砂の世界 - 砂の時間・砂振り子・光の池
- 12 落体の実験
- 13 投げた物体の運動
- 14 できた！巻巻
- 15 気象コーナー
- 16 翼電(アララド・ラン・ファンク)
- 17 パラボラ型空中電話器
- 18 くもダス
- 19 西山丘陵の地層
- 20 深草谷口町の地層
- 21 マチカネワニ・デスマスチルス
- 22 マグマからできた岩石・京都市の地形
- 23 音で遊ぼう・メロディーパイプ
- 24 ふしぎなゾーン・フレネルレンズ
- 25 滑車のはたらき
- 26 空気がうすくなっていくと
- 27 NKS磁石
- 28 気候と環境体験ルーム
- 29 電気と磁気のワンダーランド
- 30 京都の企業展ブース
- 31 電磁石・パワーボール・推理ボックス
- 32 太陽電池に光を当てよう

第1展示場(2階)

- 1 世界の昆虫
- 2 ノーベル賞コーナー
- 3 京都賞コーナー
- 4 人間万華鏡・曲面鏡・パタノスコープ・波面鏡・さかさ鏡
- 5 ボールコースター
- 6 地震をさぐる
- 7 花折断層
- 8 フーコーの振り子
- 9 イクチオサウルス
- 10 化石コーナー
- 11 ティランザウルス
- 12 アロザウルス・プロトケラトプス
- 13 アジアゾウ
- 14 タルボサウルス
- 15 サウロロフス
- 16 鴨川のいざもの
- 17 いざもの研究室
- 18 一機の環境 - 海の中の生命
- 19 潮間帯の生物
- 20 貝標本・甲殻類の標本
- 21 テレビ顕微鏡・水中の微小生物
- 22 心臓のはたらき
- 23 肺のふしぎ
- 24 心臓からの信号
- 25 映像コーナー
- 26 チョウのふしぎ
- 27 むしむしワールド
- 28 天文・宇宙の情報
- 29 惑星の運動

屋外園

- 1 太陽光発電
 - 2 風力発電
- その他、岩石、植物などの観察ができます。

開館時間

9:00~17:00 ただし、入館は閉館の30分前まで

休館日

木曜日(祝日の場合は翌平日)※春・夏・冬休みの木曜日は閉館
年末年始

●当館からのおねがい

- ・敷地内は全面禁煙です。・展示場・プラネタリウムでの飲食はご遠慮ください。
- ・許可のない動物・植物・岩石などの収集やボール遊びはご遠慮ください。
- ・ペット同伴のご入場はご遠慮ください。(ただし、盲導犬・介助犬及び聴導犬は除く)
- ・幼児の入場には引率者(保護者など)の同伴が必要です。

料金

現行	令和元年10月1日以降(予定)	
	入場料	プラネタリウム観料
個人	510円	520円
小学生	100円	90円
中学生	180円	200円
高校生	200円	180円
個人	460円	470円
小学生	90円	100円
中学生	180円	200円
高校生	200円	180円
個人	510円	520円
小学生	100円	90円
中学生	180円	200円
高校生	200円	180円

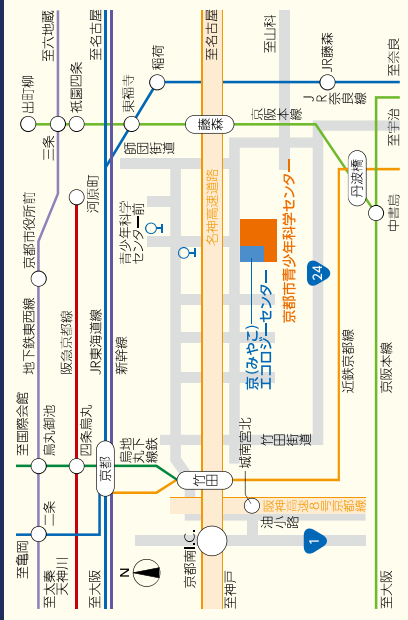
※プラネタリウムの観覧には入場料が必要です。団体は30人以上の場合です。
※乳幼児は無料です。土曜日と日曜日は、京都市内に住所または通学先を有する小・中・高・総合支援学校・民族学校の児童・生徒の料金は無料です(祝日と振替日は有料)。
※消費税及び地方消費税の増徴引き上げに伴い、令和元年10月1日から一部の料金を改定する予定です。



入場料無料の親子で楽しむについて

【対象】小学校就学未満の乳幼児に同伴する保護者1名
【内容】4回目以降の入場料無料
※1~3回目の入場の際は上記料金が必須です。
【有効期限】発行日から1年
※ただし、1年間の途中に小学生となる場合は3/31まで

交通アクセス



●京阪電車・藤森駅(KH32)下車西へ400m ●地下鉄・近鉄電車・竹田駅(K15)下車東へ1km
●市バス:105(南5)・西園(南5) ●青少年科学センター前下車南へ100m(105・南5)は京都から直通です
※駐車場に限りがあります。(普通車約30台)公共交通機関をご利用ください。

京都市青少年科学センター

KYOTO MUNICIPAL SCIENCE CENTER FOR YOUTH
〒612-0031 京都市伏見区深草地4-1内113
TEL.075-642-1601 FAX.075-642-1605
URL <http://www.educity.kyoto.jp/science/>
みんなに役立つ知識がいっぱい!理科オンライン事典!掲載!

※このパンフレットは再生紙を使用しています。



この印刷物が不潔にたばこ灰や飲み物などが付いたら、ゴミとして回収をお願いします。

令和元年5月

科学の楽しさ
見つけよう

京都市青少年科学センター

施設のごあんない



新展示品
「みらい地球儀」

おかげさまで開館50周年!入館者累計500万人達成!

京都市青少年科学センターは、昭和44年5月の開館から50周年を迎えました。これからも、実験室学習や体験型展示品、プラネタリウムなどを通して子どもたちの「科学者精神」を育みます!

2階・3階展示場

2階・3階展示場には科学を楽しむ展示品がいっぱい。展示品をさわって動かして、科学の原理を体験してみよう。



親子ふれあいサイエンスルーム

科学遊具などでの遊びを通して、親子がふれあいなから、科学の面白さ・不思議さを体験できます。(利用対象:乳幼児とその保護者)

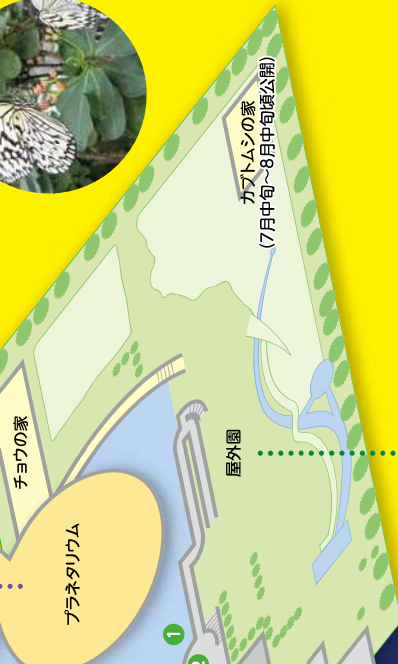


プラネタリウム

科学センターが誇る個性あふれる4人の解説者が、前半は当日の夜の星座や天体、後半は科学センターのオリジナル番組を「生」で解説!小学校低学年までのお子さま向けの「ちびっこプラネタリウム」も好評です。*番組内容や放映時刻はホームページや電話でご確認ください。



プラネタリウムマスコット
プラチヤン



屋外園

約40種類の岩石や化石、約300種類の樹木や四季折々の草花が並び屋外園。年間を通じて沖繩のチョウを観察できる「チョウの家」、7月中旬~8月中旬頃公開の「カブトムシの家」もあります。昼食スポットとしてもオススメです。



1F



子ども用トイレ



科学センターだより

科博連サイエンスフェスティバル

2/2(日)
10:00~16:00

会場 京都市青少年科学センター・京エコロジーセンター

内容 科学系博物館や高校生などによる科学実験・工作のブースが多数出展!

※一部のブースは、当日9:00から配布する整理券が必要(先着順)

※2/2(日)以外にも「京都市科学系博物館等連絡協議会」に加盟している博物館等で様々なイベントを開催!
(詳細は科学センターHPに掲載予定)

参加無料
(入場料は別途必要)
事前申込不要



「きょうと★いのちがやく博物館」4園館連携ブースも出展!

※「京都市動物園」「京都府立植物園」「京都水族館」「京都市青少年科学センター」の4園館は協定を締結し、様々な連携事業を実施しています。

土日祝、冬季・春季期間中の常設イベント

冬季期間：12/25(水)～1/6(月)ただし、年末年始の休館日を除く。
春季期間：3/25(水)～4/7(火)

チョウの家 20分

日本最大のチョウ「オオゴマダラ」、青い翅の「リュウキュウアサギマダラ」など沖縄のチョウを観察できます。

時間/12:30～, 15:15～

※冬季・春季期間以外の平日は14:15の1回のみ。

※屋外の施設のため、雨天等の場合、中止することがあります。



サイエンスタイム 20分

不思議で楽しい演示実験等をご覧ください。

◆液体窒素による低温の科学
時間/10:30～, 13:55～

◆毎日内容が変わる楽しい実験
時間/11:55～, 15:15～

※12/27(金), 4/6(月), 4/7(火)は実施しません。



楽しい実験室 25～60分

26テーマから自分の好きな実験や工作を体験できます。

開設時間/(10:00～12:00※) 13:15～15:15

※10:00～12:00の部は日祝日のみ。

※受付は終了時刻の30分前まで。

※テーマによって所要時間は異なります
(一部のテーマは材料費50～150円が必要)。



新着情報

展示品でわかる科学の不思議をさらにくわしく解説する「デジタルガイドブック」を12月から順次ホームページ上で更新!

さらに、来年3月には、化石をテーマにした新しい大型展示品を公開予定。

お楽しみに!

京都市青少年科学センター 検索

GOGO! おもしろサイエンス

土曜日と日曜日は、京都市内に住所または通学先を有する小・中・高・総合支援学校・民族学校の児童・生徒の科学センターへの入場料は無料です(祝日と振替休日は有料)。



瀬戸口所長のサイエンストーク

所長に質問もできるよ

恐竜ってどんな動物?

～時代とともに変わる恐竜たち～

科学センターの瀬戸口烈司所長(京都大学名誉教授)が、恐竜のことを子どもたちにも分かりやすく、楽しくお話します。

◆日時 2/9(日) 11:00～

参加無料

(入場料は別途必要)

事前申込不要



祝日は特別イベント開催!

祝日には、当日、気軽に参加できるユニークな科学工作・体験のイベントを開催します!

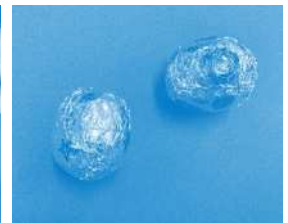
◆時間 ①11:10～ ②13:15～ ③15:45～

※各回約30分間。

2/11・2/24・3/20は各回開始前に配布する整理券が必要。

参加無料

(入場料は別途必要)



実施日	テーマ・内容	定員
1/13 (月・祝)	「ふしぎな動きのコロコロたまご」 アルミホイルやカプセル、ビー玉などを使って、まるでたまごの中の生き物が動いているかのようなふしぎなたまごをつくりましょう。	なし
2/11 (火・祝)	「貝がらのふしぎ」 みんなも知っている貝には、いろんな種類がありますね。それらの貝がらはどんなものでできているのでしょうか?また、どうやってできるのでしょうか?学んだことを活かして、貝細工をします。	各回先着 30名
2/24 (月・振)	『自分のかいた絵で「こま」を作ろう!』 さまざまな形の「こま」をつくって回します。あなたのかいた絵で世界に一つしかないオリジナルの「こま」をつくって楽しみましょう。	各回先着 30名
3/20 (金・祝)	「砂はめっちゃくちゃおもしろい!」 みなさんは砂をじっくり見たことがあるでしょうか?砂をじっくり見てみると、いろいろな発見があります。京都市の川原にある砂や全国、世界の砂を顕微鏡で見比べてみましょう。	各回先着 30名

冬の星座のみどころ

冬の大三角

オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウスという3つの1等星を結んでできる形です。春・夏にも大三角がありますが、その中で最も正三角形に近い整った形をしており、3つの星の色も少しずつちがうのが見どころです(ベテルギウス…赤、プロキオン…黄、シリウス…青白※個人差や気象条件によって色の感じ方は異なります)。

オリオン座

赤色のベテルギウス、青白色のリゲルという2つの1等星をもち、さらに2等星が5つもある明るい星座です。条件の良いところで観察すると、中央で3つ並んだ2等星(通称「三ツ星」)の南側に、縦に並んだ暗い3つの星(通称「小三ツ星」)が肉眼でも見えます。小三ツ星のうち真ん中はただの星ではなく、「オリオン大星雲」と呼ばれる星雲(ガスの集まり)で、新しい星が生まれてくる現場です。双眼鏡を使って見ると、シミのようにぼやっとした星雲の様子がわかります。

プレアデス星団(すばる)

おうし座の背中に輝く星の集まり「プレアデス星団」は日本では「すばる」と呼ばれ、古くから親しまれています。天体の種類としては「散開星団」という比較的若い星の集まりで、肉眼では5～6個の星が見える人が多いようですが、双眼鏡を使えば星の色(青白)やもっとたくさんの星が集まっていることがわかります。

令和元年12月2日(月)～プラネタリウムリニューアル工事のため、
放映を休止します。新しいプラネタリウムにご期待ください!
(令和2年7月オープン予定)



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星～

図の星空は
1月1日23時ごろ
2月1日21時ごろ
3月1日19時ごろ
に見られます

お申込みが必要なイベント

1/26日 自然観察教室「鴨川と植物園の野鳥」

冬の野鳥をフィールドスコープなどで観察。
専門家の先生が野鳥の魅力を解説してくれます。



日時/1/26(日) 9:30~15:30
対象/小学校4年生以上
(小学生は保護者同伴)
定員/40名(申込多数の場合は抽選)
費用/100円
(植物園入園料及び交通費は別途各自負担)
申込締切日/12/10(火)

「自然観察教室」申込方法(往復はがき) ※締切日必着

※宛先: 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京都市青少年科学センター
【お申込みに必要な事項(申込みは5名まで)】
◆イベント名
◆参加者全員の氏名、ふりがな、学校名・学年(大人は「一般」と記入)
◆代表者の電話番号
◆代表者の住所・氏名(返信表面の宛名にも記入)
※お申込みの際に不備があると抽選もれとなる場合がありますので、ご注意ください。
※団体を5名以下に分割してのお申込みはご遠慮ください。
※切手の貼り忘れ、料金(10/1から63円に改定されました。)の間違いにご注意ください。

1/12日 1/19日 2/23日 親子実験教室

とても楽しい科学実験・工作の
体験教室です。
親子で理科・科学の不思議や
面白さを実感できます!

参加無料
(入場料は別途必要)
要事前申込



実施日	テーマ	内容	申込期間
1/12(日)	森のおくりもの(注)	伐採された樹木“材”を使って、それぞれの樹木がもつ特徴を観察したり、実験を通して、森や樹木などの自然から受けている「めぐみ」について考えていきます。	12/17(火)~12/27(金)
1/19(日)	気体の化学(注)	目には見えない気体にはいろいろな使われ方があります。気体の性質を利用したおもちゃの仕組みを考えたり、気体の世界の状態を考えたりしましょう。	12/17(火)~12/27(金)
2/23(日)	川原の石で ふしぎ発見(注)	鴨川の川原の石を顕微鏡で観察し、石がもつ特徴を実験して調べてみましょう。それぞれの石をよく見てみると種類だけでなく色や大きさ、形も違います。一体、鴨川にはどんな石が多いのでしょうか?	1/21(火)~2/3(月)

(注)京都市立学校の小6・中1は学校の「科学センター学習」で上記のテーマの実験を行う場合があります。

対象/小・中学生とその保護者 ★幼児は入室できません。 定員/各回40名(先着順)
時間/午前の部10:00~12:00 午後の部14:00~16:00 ※受付は各回とも30分前から(場所:休憩ホール)

※受付は各回とも30分前から(場所:休憩ホール)

※障害があるなど配慮が必要な場合は、お申込後、科学センターにご相談ください(できる限りの準備・対応をいたします。)



2/21日 3/27日 市民天体観望会

科学センター天文台の大型望遠鏡や
双眼鏡などを使って、夜間に天体を観望する
イベントです。映写講義室で星の解説も行います。

参加無料
(入場料も不要)
要事前申込

実施日	テーマ	申込期間
2/21(金)	カノープスと冬の星雲星団	1/21(火)~2/3(月)
3/27(金)	金星とすばる	2/25(火)~3/9(月)

対象:小学生以上(小・中学生は保護者同伴) ★幼児は参加できません。

定員:150名(先着順) 時間:19:00~21:00(受付は30分前から)

※雨天や悪天候の場合は、映写講義室での星の解説や天文台の解説を行います。



親子実験教室, 市民天体観望会 申込方法

京都いつでもコールへ電話・FAX・Eメールのいずれか。FAXの場合は、表の事項を記入のうえ、送信してください。 (参加可能な場合、返信はありません。)

イベント名	必要事項
親子実験教室	参加希望日、イベント名、希望時間(午前・午後の別を記載)、代表者の氏名(ふりがな)・電話番号、大人の人数、子どもの人数、子どもの氏名・学年・学校名 ※人数には代表者を含む。
市民天体観望会	参加希望日、イベント名、代表者の氏名(ふりがな)・電話番号、大人の人数、子どもの人数、子どもの学年 ※人数には代表者を含む。

※1申込みにつき、市民天体観望会は申込人数の上限なし、親子実験教室は5名まで(団体を5名以下に分割してお申込みはご遠慮ください。)

京都いつでもコール (8時~21時・年中無休) Eメールは以下のホームページから

電話 075-661-3755 FAX 075-661-5855 パソコン▶<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
※おかけ間違いにご注意ください。携帯電話▶<https://www.city.kyoto.lg.jp/mobile/main/page/0000180068.html>

Eメールは入力画面が表示されている場合のみ
受付可能。返信はありません。



京都市青少年科学センター

1 → 3月 イベント カレンダー

実施日	イベント名	事前申込
1/12(日)	親子実験教室 「森のおくりもの」	要
1/13(月・祝)	特別イベント 「ふしぎな動きのコロコロたまご」	
1/19(日)	親子実験教室 「気体の化学」	要
1/26(日)	自然観察教室 「鴨川と植物園の野鳥」	要
2/2(日)	科博連サイエンスフェスティバル	
2/9(日)	瀬戸口所長のサイエンストーク 「恐竜ってどんな動物? ～時代とともに変わる恐竜たち～」	
2/11(火・祝)	特別イベント 「貝がらのふしぎ」	
2/21(金)	市民天体観望会 「カノープスと冬の星雲星団」	要
2/23(日)	親子実験教室 「川原の石でふしぎ発見」	要
2/24(月・振)	特別イベント 「自分のかいた絵で「こま」を作ろう!」	
3/20(金・祝)	特別イベント 「砂はめちやくちやおもしろい!」	
3/27(金)	市民天体観望会 「金星とすばる」	要

親子ふれあいサイエンスルーム 1F

珍しい玩具、不思議な鏡など、乳幼児が親子で楽しめる科学遊具がいっぱい!

おたのしみひろば (13:15~13:30)

実施日: 毎月第3土曜日

内容: 絵本の読み聞かせ、紙芝居など

季節のおはなし (11:30~11:50)

実施日	テーマ
2/1(土)・2(日)	節分のおはなし
2/29(土)・3/1(日)	ひな祭りってなあに?

※入室は乳幼児と保護者のみ (小学生は入室不可)



入場料優待カード「親子でパスッ!!!」

ご希望の方は「親子ふれあいサイエンスルーム」まで。

【対象】小学校就学未満の乳幼児に同伴する保護者1名

【内容】4回目以降の入場料無料

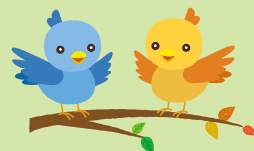
※1~3回目の入場の際は下記料金が必要です。

【利用期間】発行日から1年

※ただし、1年間の途中に小学生となる場合は3/31まで

屋外園が呼んでますよ!!

屋外園では、四季折々の樹木や草花、野鳥、岩石・化石などを観察できます。



チュウリップの芽



サザンカ



ムクドリとセシヤの実 メジロ



※ご覧いただけない場合もあります。



みんなに会えるのを
楽しみにしているリン♪

「トラりん」がやってくる!

3/1(日)、親子ふれあいサイエンスルームで「季節のおはなし ひな祭りってなあに?」があることを知って、京都国立博物館の公式キャラクター「トラりん」が科学センターに遊びにきます。(京都国立博物館でも2/15(土)~3/22(日)に特集展示「雛まつりと人形」を開催予定です。)
※詳細は科学センターのホームページをご覧ください。

■開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

■休館日 木曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/28~1/3)
※ただし、12/26(木)は開館

■料金 ()内は30人以上の団体

	小学生	中・高校生	大人
入場料	100円(90円)	200円(180円)	520円(470円)

※土曜日と日曜日は、京都市内に住所または通学先を有する小・中・高・総合支援学校・民族学校の児童・生徒の料金は無料です(祝日と振替休日は有料)。

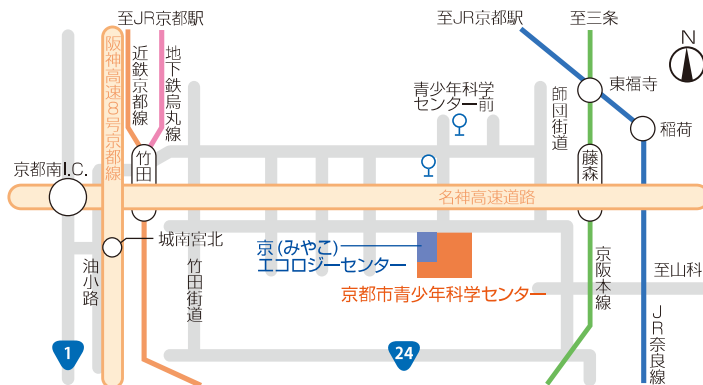
※乳幼児は無料です。

※消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、令和元年10月1日(火)から大人の入場料を510円から520円(団体は460円から470円)に改定しました。

●京阪電車: 藤森駅(KH32)下車西へ400m

●地下鉄・近鉄電車: 竹田駅(K15)下車東へ1km

●市バス: 105・南⑤・臨南⑤・南⑥青少年科学センター前下車南へ100m



※駐車台数に限りがあります(普通車約30台)。公共交通機関をご利用ください。外部の駐車場の駐車券の発行等はありません。